

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置（国際連携専攻）							
フリガナ設置者	コリツダガクカクシケン キフダガク 国立大学法人 岐阜大学						【連携外国大学を設置する国】 マレーシア	
フリガナ大学の名称	ギフダガクカクイン 岐阜大学大学院（The Graduate school of Gifu University）						【連携外国大学の名称】 The National University of Malaysia (Universiti Kebangsaan Malaysia)	
大学本部の位置	岐阜県岐阜市柳戸1番1						【連携外国大学の本部の位置】 Universiti Kebangsaan Malaysia, 43600 UKM Bangi, Selangor Malaysia	
大学の目的	本学は、地域における学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、学術文化の発展と交流を担うとともに、広く知識を授け、優れた知的・道徳的・応用的能力を持ち、自立した専門的能力を有する人材の育成を行い、もって学術文化の向上と豊かで安全な人間社会の発展に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	高度な専門性を身につけ分野横断的な広い知見を修得できる教育を基盤とし、日本とマレーシア両国の関係を中軸とする協働教育により国際的な視野と展開力、協調性を持ち、地域のものづくり分野で活躍できるリーダー人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	工学研究科 (Graduate School of Engineering) 岐阜大学・マレーシア 国民大学国際連携材料 科学工学専攻 (International Joint Department of Materials Science and Engineering between National University of Malaysia and Gifu University )	3	2 <27>	— —	6 <81>	博士（学術） (Doctor of Philosophy)	平成31年4月 第1年次	岐阜県岐阜市柳戸1番1
計		2	—	6				

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工学研究科 工学専攻(D) (23) (平成30年4月事前伺い) 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携統合機械工学専攻(D) (2) (平成30年8月意見伺い)</li> <li>自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(M) (10) (平成30年3月意見伺い)</li> <li>連合農学研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(D) (2) (平成30年3月意見伺い)</li> <li>共同獣医学研究科共同獣医学専攻(D) (6) (平成30年4月事前伺い)</li> </ul>								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻(M) [定員減] (△8) (平成31年4月) 生物生産環境科学専攻(M) [定員減] (△2) (平成31年4月)</li> <li>連合農学研究科生物資源科学専攻(D) [定員減] (△2) (平成31年4月)</li> </ul>								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻(D)	20科目	5科目	5科目	30科目	10単位			
教員	学部等の名称	専任教員等						兼任教員等	【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
新設分	自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(M)	14 (14)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	人数：1名 職名：教授 所属：岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(M) 平成30年3月意見伺い
	連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(D)	16 (16)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	4 (4)	人数：1名 職名：准教授 所属：岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D) 平成30年3月意見伺い
	工学研究科 工学専攻(D)	67 (67)	54 (54)	0 (0)	0 (0)	121 (121)	0 (0)	0 (0)	平成30年4月事前伺い
	工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携統合機械工学専攻(D)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	2 (2)	人数：1名 職名：教授 所属：岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻 平成30年8月意見伺い
	工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)	10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)	人数：1名 職名：准教授 所属：岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻 平成30年8月意見伺い
織	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻(D)	13 (13)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	0 (0)	平成30年4月事前伺い
	計	97 (97)	75 (75)	0 (0)	0 (0)	172 (172)	0 (0)	- (-)	

概 設 分 要	既	教育学研究科	10	6	0	0	16	0	1	
		教育実践開発専攻(P)	(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(1)	
		教育学研究科	5	2	0	3	10	0	11	
		心理発達支援専攻(M)	(5)	(2)	(0)	(3)	(10)	(0)	(11)	
		教育学研究科	38	29	0	9	76	0	76	
		総合教科教育専攻(M)	(38)	(29)	(0)	(9)	(76)	(0)	(76)	
		地域科学研究科	8	9	0	2	19	0	19	
		地域政策専攻(M)	(8)	(9)	(0)	(2)	(19)	(0)	(19)	
		地域科学研究科	14	4	1	2	21	0	21	
		地域文化専攻(M)	(14)	(4)	(1)	(2)	(21)	(0)	(21)	
		医学系研究科	38	29	3	36	106	0	124	
		医科学専攻(D)	(38)	(29)	(3)	(36)	(106)	(0)	(124)	
		医学系研究科	10	12	0	15	37	0	15	
		看護学専攻(M)	(10)	(12)	(0)	(15)	(37)	(0)	(15)	
		自然科学技術研究科	28	17	0	15	60	0	64	
		生命科学・化学専攻(M)	(28)	(17)	(0)	(15)	(60)	(0)	(64)	
		自然科学技術研究科	22	24	0	9	55	0	60	
		生物生産環境科学専攻(M)	(22)	(24)	(0)	(9)	(55)	(0)	(60)	
		自然科学技術研究科	15	8	0	3	26	0	30	
		環境社会基盤工学専攻(M)	(15)	(8)	(0)	(3)	(26)	(0)	(30)	
		自然科学技術研究科	19	12	0	10	41	0	45	
		物質・ものづくり工学専攻(M)	(19)	(12)	(0)	(10)	(41)	(0)	(45)	
		自然科学技術研究科	21	24	0	12	57	0	61	
	知能理工学専攻(M)	(21)	(24)	(0)	(12)	(57)	(0)	(61)		
	自然科学技術研究科	20	12	0	8	40	0	44		
	エネルギー工学専攻(M)	(20)	(12)	(0)	(8)	(40)	(0)	(44)		
	連合農学研究科	15	18	0	3	36	0	15		
	生物生産科学専攻(D)	(15)	(18)	(0)	(3)	(36)	(0)	(15)		
	連合農学研究科	14	20	0	6	40	0	15		
	生物環境科学専攻(D)	(14)	(20)	(0)	(6)	(40)	(0)	(15)		
	連合農学研究科	29	23	0	10	62	0	15		
	生物資源科学専攻(D)	(29)	(23)	(0)	(10)	(62)	(0)	(15)		
	連合創薬医療情報研究科	8	3	0	0	11	0	19		
	創薬科学専攻(D)	(8)	(3)	(0)	(0)	(11)	(0)	(19)		
	連合創薬医療情報研究科	9	3	0	0	12	0	19		
	医療情報学専攻(D)	(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	(0)	(19)		
	計	323	255	4	143	725	0	-		
		(323)	(255)	(4)	(143)	(725)	(0)	(-)		
	合 計	336	268	4	143	751	0	-		
		(336)	(268)	(4)	(143)	(751)	(0)	(-)		
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		申請大学全体	
	事 務 職 員		329人		11人		340人			
			(329)		(11)		(340)			
	技 術 職 員		871		224		1,095			
			(871)		(224)		(1,095)			
図 書 館 専 門 職 員		7		0		7				
		(7)		(0)		(7)				
そ の 他 の 職 員		1		0		1				
		(1)		(0)		(1)				
	計	1,208		235		1,443				
		(1,208)		(235)		(1,443)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		申請大学全体	
	校 舎 敷 地	192,757㎡	0㎡		0㎡		192,757㎡			
	運 動 場 用 地	90,589㎡	0㎡		0㎡		90,589㎡			
	小 計	283,346㎡	0㎡		0㎡		283,346㎡			
	そ の 他	6,045,665㎡	9,051㎡		0㎡		6,054,716㎡			
		6,329,011㎡		9,051㎡		6,338,062㎡				
	合 計	6,329,011㎡	9,051㎡		0㎡		6,338,062㎡			
							62,890㎡			
							その他の内、附属病院			

校舎		専用	共用	共用する他の 学校等の専用	計	申請大学全体			
		195,928㎡ (195,928㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	195,928㎡ (195,928㎡)	別途附属病院 70,002㎡			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体			
	86室	67室	575室	8室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
		岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻(D)			14室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	専攻単位での特定 不能なため、申請 大学全体の数	
	岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)	905,757 [303,075] (905,757 [303,075])	24,032 [11,722] (24,032 [11,722])	7,268 [6,048] (7,268 [6,048])	4,331 (4,331)	6,487 (6,487)	2,238 (2,238)		
	計	905,757 [303,075] (905,757 [303,075])	24,032 [11,722] (24,032 [11,722])	7,268 [6,048] (7,268 [6,048])	4,331 (4,331)	6,487 (6,487)	2,238 (2,238)		
図書館		面積	閲覧座席数	収納可能冊数	申請大学全体				
		9,951㎡	712	959,578					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					申請大学全体	
		4,616㎡	弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
経費の 見積り 及び 維持 方法 の 概要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	-	-	-	-	
		共同研究費等	-	-	-	-	-	-	
		図書購入費	-	-	-	-	-	-	
	設備購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし						
大学の名称		岐阜大学							
学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍		岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	230	-	920	学士(教育学)	1.02	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.01	平成19年度		
地域科学部			3年次					岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策学科	4	50	5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部			3年次					岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110	-	654	学士(医学)	1.00	昭和39年度		平成27年度入学定員増(3人)
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		

既設 大学等 の 状 況	工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
	社会基盤工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.02	平成14年度		
	機械工学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.04	平成25年度		
	化学・生命工学科	4	150	-	600	学士(工学)	1.05	平成25年度		
	電気電子・情報工学科	4	170	-	680	学士(工学)	1.03	平成25年度		
	機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
	応用化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
	電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
	応用情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
	機能材料工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
	人間情報システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より 学生募集停止	
					3年次					
	(各学科共通)	-	-	30	60	学士(工学)	-			
	応用生物科学部				3年次				岐阜県岐阜市柳戸1番1	
	応用生命科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成23年度		
	生産環境科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.04	平成16年度		
	共同獣医学科	6	30	-	180	学士(獣医学)	1.05	平成25年度		
	獣医学課程	6	-	-	-	学士(獣医学)	-	平成16年度	平成25年度より 学生募集停止	
	教育学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
	教職実践開発専攻(P)	2	25	-	50	教職修士(専門職)	1.02	平成20年度		
	心理発達支援専攻(M)	2	10	-	20	修士(教育学)	0.55	平成20年度		
	総合教科教育専攻(M)	2	34	-	68	修士(教育学)	1.00	平成25年度		
	地域科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
	地域政策専攻(M)	2	12	-	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度		
	地域文化専攻(M)	2	8	-	16	修士(地域科学)	2.00	平成13年度		
	医学系研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
	医科学専攻(D)	4	47	-	188	博士(医学)	0.71	平成14年度		
	再生医科学専攻(D)	3	6	-	18	博士(再生医科学)	0.22	平成14年度		
	看護学専攻(M)	2	8	-	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度		
工学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
社会基盤工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
応用化学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
応用情報学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
人間情報システム工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
数理デザイン工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
環境エネルギーシステム専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より 学生募集停止		
生産開発システム工学専攻(D)	3	7	-	21	博士(工学)	1.61	平成3年度			
物質工学専攻(D)	3	3	-	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻(D)	3	4	-	12	博士(工学)	1.25	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻(D)	3	13	-	39	博士(工学)	0.41	平成11年度			

応用生物科学研究科									岐阜県岐阜市柳戸1番1	
応用生命科学専攻(M)	2	-	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成25年度			平成29年度より学生募集停止
生産環境科学専攻(M)	2	-	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成25年度			平成29年度より学生募集停止
自然科学技術研究科									岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生命科学・化学専攻(M)	2	82	-	164	修士(工学または応用生物科学)	1.20	平成29年度			
生物生産環境科学専攻(M)	2	44	-	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			
環境社会基盤工学専攻(M)	2	29	-	58	修士(工学)	1.22	平成29年度			
物質・ものづくり工学専攻(M)	2	67	-	134	修士(工学)	1.32	平成29年度			
知能理工学専攻(M)	2	81	-	162	修士(工学)	1.22	平成29年度			
エネルギー工学専攻(M)	2	72	-	144	修士(工学)	1.27	平成29年度			
連合農学研究科									岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生物生産科学専攻(D)	3	7	-	21	博士(農学)	0.80	平成3年度			
生物環境科学専攻(D)	3	5	-	15	博士(農学)	1.26	平成3年度			
生物資源科学専攻(D)	3	8	-	24	博士(農学)	1.62	平成3年度			
連合獣医学研究科									岐阜県岐阜市柳戸1番1	
獣医学専攻(D)	4	6	-	66	博士(獣医学)	1.51	平成2年度			平成30年度入学定員減(△14名)
連合創薬医療情報研究科									岐阜県岐阜市柳戸1番1	
創薬科学専攻(D)	3	3	-	9	博士(工学または薬科学)	1.22	平成19年度			
医療情報学専攻(D)	3	3	-	9	博士(医科学または薬科学)	0.77	平成19年度			
<p>名 称 : 教育学部附属小・中学校  目 的 : 小学校教育、中学校教育、研究及び教員養成  所 在 地 : 岐阜県岐阜市加納大手町74番地  設 置 年 月 : 附属小学校 昭和27年4月  附属中学校 昭和26年4月  規模等(延面積) : 13,531㎡</p> <p>名 称 : 医学部附属病院  目 的 : 診療、医学の教育及び研究  所 在 地 : 岐阜県岐阜市柳戸1番1  設 置 年 月 : 昭和42年6月  規模等(延面積) : 72,552㎡</p> <p>名 称 : 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター  美濃加茂農場  目 的 : 農学、獣医学の教育及び研究  所 在 地 : 岐阜県美濃加茂市牧野1918-1  設 置 年 月 : 平成16年4月  規模等(延面積) : 建物 1,590㎡  土地 95,832㎡</p>										

附属施設の概要	<p>名称： 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林</p> <p>目的： 農学の教育及び研究</p> <p>所在地： 岐阜県下呂市萩原町山之口</p> <p>設置年月： 平成16年4月</p> <p>規模等(延面積)： 建物 1,103㎡ 土地 5,539,302㎡</p>
	<p>名称： 応用生物科学部附属動物病院</p> <p>目的： 診療、獣医学の教育及び研究</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成16年4月</p> <p>規模等(延面積)： 3,297㎡</p>
	<p>名称： 教育推進・学生支援機構</p> <p>目的： 教育推進、学生支援</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成25年12月</p> <p>規模等(延面積)： 7,003㎡</p>
	<p>名称： 研究推進・社会連携機構</p> <p>目的： 研究推進、教育研究活動支援、産学連携・地域連携推進</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成24年8月</p> <p>規模等(延面積)： 3,906㎡</p>
	<p>名称： 流域圏科学研究センター</p> <p>目的： 流域圏科学分野の研究</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1 (高山試験地 岐阜県高山市岩井町919の47)</p> <p>設置年月： 平成14年4月</p> <p>規模等(延面積)： 1,890㎡</p>
	<p>名称： 保健管理センター</p> <p>目的： 学生及び教職員の健康管理</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 昭和49年4月</p> <p>規模等(延面積)： 525㎡</p>
	<p>名称： 医学教育開発研究センター</p> <p>目的： 医学教育に関する研修、調査分析等</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成13年4月</p> <p>規模等(延面積)： 422㎡</p>

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の出定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人岐阜大学 設置申請に係わる組織の移行表

平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
岐阜大学				岐阜大学				
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	230	—	920	学校教育教員養成課程	230	—	920	
特別学校支援教員養成課程	20	—	80	特別学校支援教員養成課程	20	—	80	
地域科学部		3年次		地域科学部		3年次		
	50	5			50	5		
地域政策学科			210	地域政策学科			210	
地域文化学科	50	5	210	地域文化学科	50	5	210	
医学部		3年次		医学部		3年次		
医学科(6年制)	110	—	654	医学科(6年制)	110	—	657	地域の医師確保等の観点からの平成27年度医学部入学定員の増加に伴う収容定員の変更(3)
看護学科	80	10	340	看護学科	80	10	340	
工学部		3年次		工学部		3年次		
社会基盤工学科	60			社会基盤工学科	60			
機械工学科	130	30 (各学科 共通)	2,100	機械工学科	130	30 (各学科 共通)	2,100	
化学・生命工学科	150			化学・生命工学科	150			
電気電子・情報工学科	170			電気電子・情報工学科	170			
応用生物科学部		3年次		応用生物科学部		3年次		
応用生命科学課程	80	5	330	応用生命科学課程	80	5	330	
生産環境科学課程	80	5	330	生産環境科学課程	80	5	330	
共同獣医学科(6年制)	30	—	180	共同獣医学科(6年制)	30	—	180	
計	1,240	60	5,354	計	1,240	60	5,357	
岐阜大学大学院				岐阜大学大学院				
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践開発専攻(P)	25	—	50	教職実践開発専攻(P)	25	—	50	
心理発達支援専攻(M)	10	—	20	心理発達支援専攻(M)	10	—	20	
総合教科教育専攻(M)	34	—	68	総合教科教育専攻(M)	34	—	68	
地域科学研究科				地域科学研究科				
地域政策専攻(M)	12	—	24	地域政策専攻(M)	12	—	24	
地域政策専攻(M)	8	—	16	地域政策専攻(M)	8	—	16	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻(4年制D)	47	—	188	医科学専攻(4年制D)	47	—	188	
再生医学専攻(D)	6	—	18	看護学専攻(M)	0	—	0	平成31年4月学生募集停止
看護学専攻(M)	8	—	16		8	—	16	
工学研究科				工学研究科				
生産開発システム工学専攻(D)	7	—	21		0	—	0	平成31年4月学生募集停止
物質工学専攻(D)	3	—	9		0	—	0	平成31年4月学生募集停止
電子情報システム工学専攻(D)	4	—	12		0	—	0	平成31年4月学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻(D)	13	—	39		0	—	0	平成31年4月学生募集停止
				工学専攻(D)	23	—	69	研究科の専攻の設置(事前伺い)
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
				国際連携統合機械工学専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
				岐阜大学・マレーシア国民大学				
				国際連携材料科学工学専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
自然科学技術研究科				自然科学技術研究科				
生命科学・化学専攻(M)	82	—	164	生命科学・化学専攻(M)	74	—	148	定員変更(△8)
生物生産環境科学専攻(M)	44	—	88	生物生産環境科学専攻(M)	42	—	84	定員変更(△2)
環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	
物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	
知能理工学専攻(M)	81	—	162	知能理工学専攻(M)	81	—	162	
エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
				国際連携食品科学技術専攻(M)	10	—	20	研究科の専攻の設置(意見伺い)
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物生産科学専攻(D)	7	—	21	生物生産科学専攻(D)	7	—	21	
生物環境科学専攻(D)	5	—	15	生物環境科学専攻(D)	5	—	15	
生物資源科学専攻(D)	8	—	24	生物資源科学専攻(D)	6	—	18	定員変更(△2)
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
				国際連携食品科学技術専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
連合獣医学研究科				連合獣医学研究科				
獣医学専攻(4年制D)	6	—	24		0	—	0	平成31年4月学生募集停止
				共同獣医学研究科				研究科の設置(事前伺い)
				共同獣医学専攻(4年制D)	6	—	24	
連合創薬医療情報研究科				連合創薬医療情報研究科				
創薬科学専攻(D)	3	—	9	創薬科学専攻(D)	3	—	9	
医療情報学専攻(D)	3	—	9	医療情報学専攻(D)	3	—	9	
計	584	—	1,333	計	578	—	1,315	

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考					
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学										
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計		
特別研究	ディサテーション プロジェクト プロポーザル	○	1 ①	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17					23	37	
	ディサテーション シノプシス レビュー	○	3 ③	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17					23	37	
	特別研究	○	1~3 通	岐阜大学・マレーシア国民大学	1					○		10	4				14	6	17					23	37	
	小計 (3科目)		-		3	0	0		-			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	0	23	37	
特別演習	バイマンスリー プロGRESS レビュー	○	1~3 通	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17					23	37	
	アニュアル プロGRESS レビュー	○	1~2 ④	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17					23	37	
	小計 (2科目)		-		2	0	0		-			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	0	23	37	
専門科目	有機高分子材料特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1					1							0	1	
	生体分子合成化学特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	コンピュータビジョン特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	有機合成特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	錯体物性特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	先端有機材料特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	機能性磁性材料学		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	反応・分離プロセス工学特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	固体化学特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	液晶材料物性特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1	1				1							0	1	
	分離計測化学		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1	1	1			1							0	1	
	統計物理学特論		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1	1	1			1							0	1	
	元素化学特論		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1	1	1			1							0	1	
	無機材料化学		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1	1	1			1							0	1	
	小計 (14科目)		-		0	14	0		-			10	4	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14	
開講科目	リサーチメソドロジー		1~2 ①②	マレーシア国民大学		4			○							0	6	17						23	23	
	小計 (1科目)		-		0	4	0		-			0	0	0	0	0	0	6	17	0	0	0	0	23	23	
科学技術実践科目	リサーチ ディセミネーション		1・2・3 通	岐阜大学	1					○		10	4				14							0	14	
	JDインターンシップ		2 通	岐阜大学	1					○		10	4				14							0	14	
	デザイン思考実践特論		1・2・3 ③④	岐阜大学		1			○			10	4				14							0	14	
	特別講義		1・2・3 通	岐阜大学		1			○			10	4				14							0	14	
	エンライトメント・レクチャー		1・2・3 通	岐阜大学		1			○							0								0	0	兼1
	ビジネス英語		1・2・3 通	岐阜大学		1			○							0								0	0	兼1
	科学技術英語		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○							0								0	0	兼1
	アイデアトレーニングキャンプ		1・2・3 通	岐阜大学		1				○						0								0	0	兼1
	学外研修プログラム (インターンシップ) 1		1・2・3 通	岐阜大学		1				○		10	4				14							0	14	
	学外研修プログラム (インターンシップ) 2		1・2・3 通	岐阜大学		2				○		10	4				14							0	14	
小計 (10科目)		-		2	9	0		-			10	4	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14	兼2	
合計 (30科目)		-		7	27	0		-			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	0	23	37	兼2	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	工学関係	
			開設大学等	開設単位数（必修）
卒業要件及び履修方法 （国際連携専攻の修了要件・履修方法） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。  （連携外国大学の修了要件） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。	開設大学等			
	岐阜大学	25(2)	1学年の学期区分	2学期（4ターム）
	マレーシア国民大学	4(0)	1学期の授業期間	16週（1ターム8週）
	共同開設科目	5(5)	1時限の授業時間	90分（岐阜大学）、60分（マレーシア国民大学）

（注）

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）（岐阜大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考				
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学									
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計	
特別研究	ディサテーション プロジェクト プロポーザル	○	1 ①	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17				23	37	
	ディサテーション シノプシス レビュー	○	3 ③	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17				23	37	
	特別研究	○	1~3 通	岐阜大学・マレーシア国民大学	1					○		10	4				14	6	17				23	37	
	小計（3科目）		—		3	0	0		—			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	23	37	
特別演習	バイマンスリー プロGRESS レビュー	○	1~3 通	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17				23	37	
	アニュアル プロGRESS レビュー	○	1~2 ④	岐阜大学・マレーシア国民大学	1				○			10	4				14	6	17				23	37	
	小計（2科目）		—		2	0	0		—			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	23	37	
専攻科目	有機高分子材料特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	生体分子合成化学特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1	1				1						0	1	
	コンピュータビジョン特論		1・2・3 ①	岐阜大学		1			○			1	1				1						0	1	
	有機合成特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	錯体物性特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	先端有機材料特論		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	機能性磁性材料学		1・2・3 ②	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	反応・分離プロセス工学特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	固体化学特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	液晶材料物性特論		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	分離計測化学		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○			1	1				1						0	1	
	統計物理学特論		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1	1				1						0	1	
	元素化学特論		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
	無機材料化学		1・2・3 ④	岐阜大学		1			○			1					1						0	1	
小計（14科目）		—		0	14	0		—			10	4	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14		
科学技術実践科目	リサーチ ディセミネーション		1・2・3 通	岐阜大学	1					○		10	4				14						0	14	
	JDインターンシップ		2 通	岐阜大学	1					○		10	4				14						0	14	
	デザイン思考実践特論		1・2・3 ③・④	岐阜大学		1			○			10	4				14						0	14	
	特別講義		1・2・3 通	岐阜大学		1			○			10	4				14						0	14	
	エンライトメント・レクチャー		1・2・3 通	岐阜大学		1			○							0							0	0	兼1
	ビジネス英語		1・2・3 通	岐阜大学		1			○							0							0	0	兼1
	科学技術英語		1・2・3 ③	岐阜大学		1			○							0							0	0	兼1
	アイディアトレーニングキャンプ		1・2・3 通	岐阜大学		1				○						0							0	0	兼1
	学外研修プログラム（インターンシップ）1		1・2・3 通	岐阜大学		1				○		10	4				14						0	14	
	学外研修プログラム（インターンシップ）2		1・2・3 通	岐阜大学		1				○		10	4				14						0	14	
小計（10科目）		—		2	9	0		—			10	4	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14	兼2	
合計（29科目）		—		7	23	0		—			10	4	0	0	0	14	6	17	0	0	0	23	37	兼2	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	工学関係	
卒業要件及び履修方法		開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等
（国際連携専攻の修了要件・履修方法） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。  （連携外国大学の修了要件） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。		岐阜大学	25(2)	1 学年の学期区分 2学期（4ターム）
		共同開設科目	5(5)	1 学期の授業期間 16週（1ターム8週）
				1 時限の授業時間 90分

（注）

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）（マレーシア国民大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計
専門科目	リサーチメソドロジー		1~2 ①②	マレーシア国民大学		4		○							0	6	17					23	23	
	小計（1科目）		—		0	4	0	—							0	6	17	0	0	0	0	23	23	
	合計（1科目）		—		0	4	0	—							0	6	17	0	0	0	0	23	23	
学位又は称号	博士（学術）				学位又は学科の分野			工学関係																
卒業要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）		授業期間等														
（国際連携専攻の修了要件・履修方法） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。  （連携外国大学の修了要件） 3年又はそれ以上の期間にわたり在籍し、必要な研究指導を受け、研究遂行上必要なすべての単位（特別研究3単位、特別演習2単位、専門科目2単位、科学技術実践科目3単位の合計10単位）を修得した上で、博士論文の審査に合格すること。なお、学位論文の基礎となる学術論文は学術誌に2編以上とする。	マレーシア国民大学			4(0)	1学年の学期区分					2学期（4ターム）														
	共同開設科目			0(0)	1学期の授業期間					16週（1ターム8週）														
					1時限の授業時間					60分														

（注）

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要														
(工学研究科工学専攻D)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	特別研究	1~3 通	3					○	67	41				
	小計 (1科目)	—	3	0	0			—	67	41	0	0	0	—
特別演習	特別演習Ⅰ	1 通	1				○		67	54				
	特別演習Ⅱ	2 通	1				○		67	54				
	小計 (2科目)	—	2	0	0			—	67	54	0	0	0	—
	誘電体物性工学特論	1 前		1		○				1				前半
	生体分子合成化学特論	1 前		1		○				1				前半
	コンピュータビジョン特論	1 前		1		○				1				前半
	情報ストレージ符号理論	1 前		1		○			1					前半
	地盤環境工学特論	1 前		1		○			1					前半
	バーチャル・リアリティ技術特論	1 前		1		○				1				前半
	構造設計特論	1 前		1		○				1				前半
	レオロジー工学特論	1 前		1		○				1				前半
	プログラム理論特論	1 前		1		○			1					前半
	コンクリートの実践耐久性力学	1 前		1		○			1					前半
	変動帯地質学	1 前		1		○			1					前半
	水文解析学特論	1 前		1		○				1				前半
	整数論	1 前		1		○				1				前半
	海洋工学特論	1 前		1		○			1					前半
	エネルギーリサイクルシステム特論	1 前		1		○				1				前半
	防災減災マネジメント	1 前		1		○				1				前半
	電子制御システム工学	1 前		1		○			1					前半
	統計的機械学習特論	1 前		1		○				1				前半
	流域環境計画・管理	1 前		1		○			1					前半
	地域マネジメント	1 前		1		○			1					前半
	高温熱力学特論	1 前		1		○			1					前半
	有機高分子材料特論	1 前		1		○			1					前半
	計算物理学特論	1 前		1		○			1					前半
	応用構造有機化学特論	1 前		1		○				1				前半
	地震防災システム特論	1 前		1		○			1					前半
	制御理論特論	1 前		1		○				1				前半
	半導体光物性特論	1 前		1		○				1				前半
	ミリ波・テラヘルツ波フォトニクス	1 前		1		○				1				前半
	半導体光プロセス	1 前		1		○			1					前半
	水環境動態解析論	1 前		1		○				1				前半
	画像援用システム特論	1 前		1		○			1					前半
	生体信号・画像処理特論	1 前		1		○			1					前半
	エネルギー変換半導体材料学特論	1 前		1		○				1				前半
	極限構造材料工学	1 前		1		○				1				前半
	雷物理とその応用に関する特論	1 前		1		○			1					前半
	有機合成特論	1 前		1		○			1					後半
	不均相系熱プロセス工学特論	1 前		1		○			1					後半
	エネルギーデバイス工学特論	1 前		1		○			1					後半
	錯体物性特論	1 前		1		○			1					後半
	分離材料工学特論	1 前		1		○				1				後半
	応用回折結晶学特論	1 前		1		○				1				後半
	生体膜物性特論	1 前		1		○				1				後半
	エネルギープロセスデザイン特論	1 前		1		○			1					後半
	モビリティデザイン論	1 前		1		○			1					後半
	先端有機材料特論	1 前		1		○			1					後半

	機能表面創製特論	1	前	1	○	1			後半
	再生可能エネルギーと太陽光発電システム	1	前	1	○	1			後半
	セラミックス化学特論	1	前	1	○	1			後半
	流体数学	1	前	1	○		1		後半
	地盤の挙動解析	1	前	1	○	1			後半
	最先端有機変換反応特論	1	前	1	○		1		後半
	機能性磁性材料学	1	前	1	○	1			後半
	光エネルギー変換材料特論	1	前	1	○	1			後半
	VLBI工学特論	1	前	1	○		1		後半
	地表面近くの気象学	1	前	1	○	1			後半
	基礎工業数学	1	前	1	○		1		後半
	マルチモーダル情報処理特論	1	前	1	○		1		後半
	地域インフラシステム形成史	1	前	1	○		1		後半
	インタラクション特論	1	前	1	○		1		後半
専	環境放射線科学	1	前	1	○	1			後半
門	溶融加工	1	前	1	○		1		後半
科	薄膜工学特論	1	前	1	○		1		後半
	医用画像特論	1	前	1	○		1		後半
目	応用生物物理学	1	前	1	○	1			後半
	イオン伝導性セラミックス材料学	1	前	1	○	1			後半
	機能有機分子特論	1	前	1	○	1			後半
	自然言語処理特論	1	前	1	○		1		後半
	生産知能機械特論	1	前	1	○	1			後半
	加法過程特論	1	前	1	○		1		後半
	電磁応用工学特論	1	前	1	○		1		後半
	気象環境システム特論	1	前	1	○		1		後半
	トライボロジー	1	前	1	○	1			後半
	理論物性物理特論	1	後	1	○	1			前半
	運動制御システム工学	1	後	1	○	1			前半
	乱流の動的構造論	1	後	1	○		1		前半
	反応・分離プロセス工学特論	1	後	1	○	1			前半
	集積型金属錯体特論	1	後	1	○		1		前半
	コンクリート構造解析学	1	後	1	○	1			前半
	応用地質学特論	1	後	1	○	1			前半
	固体化学特論	1	後	1	○	1			前半
	破壊力学	1	後	1	○		1		前半
	現代力学系理論	1	後	1	○	1			前半
	流体計測特論	1	後	1	○		1		前半
	液晶材料物性特論	1	後	1	○	1			前半
	プロジェクト・システムマネジメント	1	後	1	○	1			前半
	反応性流体診断学特論	1	後	1	○	1			前半
	固体触媒化学	1	後	1	○		1		前半
	応用画像工学	1	後	1	○	1			前半
	量子多体物理学特論	1	後	1	○		1		前半
	凝縮応用分光学	1	後	1	○	1			前半
	大気電気学	1	後	1	○	1			前半
	数値シミュレーション特論	1	後	1	○	1			前半
	計算力学特論	1	後	1	○		1		前半
	アナログ集積回路工学特論	1	後	1	○	1			前半
	応用河川工学特論	1	後	1	○		1		前半
	情報ネットワーク・デザイン	1	後	1	○		1		前半
	情報科学における離散構造	1	後	1	○	1			前半
	超音速流体力学特論	1	後	1	○	1			前半
	超分子化学特論	1	後	1	○		1		前半
	鋼構造安定特論	1	後	1	○	1			前半
	サイバーセキュリティ特論	1	後	1	○		1		前半
	ロボットシステム特論	1	後	1	○		1		前半
	先端数値解析特論	1	後	1	○		1		前半

微生物資源工学	1	後	1	○	1							前半
電磁エネルギー工学特論	1	後	1	○	1							前半
パワーエレクトロニクス応用実践特論	1	後	1	○			1					後半
疲労破壊強度学	1	後	1	○	1							後半
数理解析	1	後	1	○	1							後半
無線通信ルーティング	1	後	1	○			1					後半
機能性材料評価技術特論	1	後	1	○	1							後半
コンクリート構造先端維持管理工学	1	後	1	○	1							後半
非線形現象の数理	1	後	1	○			1					後半
集積回路設計工学特論	1	後	1	○			1					後半
複合材料力学特論	1	後	1	○	1							後半
統計物理学特論	1	後	1	○			1					後半
無機材料化学	1	後	1	○	1							後半
振動音響解析学	1	後	1	○	1							後半
高分子物性特論	1	後	1	○			1					後半
元素化学特論	1	後	1	○	1							後半
土構造物維持管理	1	後	1	○	1							後半
計算材料科学特論	1	後	1	○	1							後半
高等有限要素法特論	1	後	1	○	1							後半
高度水処理工学特論	1	後	1	○	1							後半
小計 (123科目)	—		0	123	0	—	67	54	0	0	0	—
科学技術実践科目	リサーチディセミネーション	3	通	1		○	67	54				
	デザイン思考実践特論	2	通	1		○	67	54				
	特別講義	1	通	1		○	67	54				
	エンライトメント・レクチャー	1	通	1		○						兼1
	ビジネス英語	1	通	1		○						兼1
	科学技術英語	1	後	1		○						兼1
	アイディアトレーニングキャンプ	1	通	1		○						兼1
	インターンシップ	1・2・3	通	1		○	67	54				
	学外研修プログラム (インターンシップ) 1	1	通	1		○	67	54				
学外研修プログラム (インターンシップ) 2	2	通	1		○	67	54					
小計 (10科目)	—		2	8	0	—	67	54	0	0	0	兼2
合計 (136科目)	—		7	131	0	—	67	54	0	0	0	兼2
学位又は称号	博士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係						
卒業要件及び履修方法					授業期間等							
(履修科目の登録の上限：なし)					1 学年の学期区分			2 学期 (4ターム)				
					1 学期の授業期間			1 6 週 (1ターム8週)				
					1 時限の授業時間			9 0 分				

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合に於ける学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更の基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成する。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おう場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	岐阜大学・マレーシア国民大学	ディサレーション プロジェクト プロポーザル	学生は何が解決すべき問題で、何を解明すべきなのか等、研究の背景について体系的に理解する。それに基づき研究の目的を設定し、研究計画を策定する。ビデオ会議システムの利用などにより学生指導委員会を構成する両大学の教員が出席の下、学生は研究計画について発表、質疑応答を行う。	共同開設科目
	岐阜大学・マレーシア国民大学	ディサレーション シノプシス レビュー	博士入学以降に得られた研究成果、国際論文の公表状況、どのように博士論文を取りまとめるのかについて、学生は学生指導委員会で発表、質疑応答を行う。主・副両大学の教員による学生指導委員会での審査を経て、博士論文提出の可否が決定される。	共同開設科目
特別研究	岐阜大学・マレーシア国民大学	特別研究	<p>（概要） 世界トップレベルの研究やイノベーションに繋がる萌芽研究のみならず、地域の課題に係わる研究をその専門領域の指導教員の指導のもとに実施する。</p> <p>（1 安藤 香織） 有機反応化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（2 上宮 成之） 反応分離工学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（3 海老原 昌弘） 錯体物性化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（4 大矢 豊） 無機材料物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（5 杓水 祥一） 分子集合体化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（6 額 守） 機能性有機分子化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（7 嶋 睦宏） 磁気物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（8 武野 明義） 機能性高分子物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（9 伴 隆幸） 無機材料化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（10 村井 利昭） 有機合成化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（11 岡 夏央） 機能性有機分子設計に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（12 加藤 邦人） コンピュータビジョンに関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p>	共同開設科目

			(13 新田 高洋) 高分子物理学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。	
			(14 リム リーフ) 分離計測化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。	
特別演習	岐阜大学・マレーシア国民大学	バイマンスリー プログレス レビュー	学生は研究の進捗を指導教員に報告し、問題点や今後の計画などを話し合う。4学期制の各学期に1度以上行うこととする。	共同開設科目
	岐阜大学・マレーシア国民大学	アニュアル プログレス レビュー	学生は、1年に1度、学生は学生指導委員会において研究の進捗を報告、質疑応答を行う。	共同開設科目
岐阜大学開講科目	岐阜大学	有機高分子材料特論	高分子材料の研究開発に必要な原理および解析方法について講義する。高分子鎖の挙動、高分子表面の評価、多孔性高分子材料、炭素繊維複合材料など、最近の研究動向や注目すべきトピックスについて論文を紹介しながら解説する。	
	岐阜大学	生体分子合成化学特論	核酸や糖をはじめとする生体分子やこれらの化学修飾体には、医療などへの応用が期待される生物活性を有するものが多い。本講義では、このような化合物を合成するための有機合成化学における方法論について講義する。	
	岐阜大学	コンピュータビジョン特論	最近のカメラの性能向上は目を見張るものがあるが、ここでは単に映像記録としてのカメラの理解に留まらず、カメラから得られた画像をコンピュータで統合処理して、観測している対象を認識・理解するコンピュータビジョンに対する理解を深める。具体的にはコンピュータビジョンに関する要素技術と応用システムについて輪講形式で学ぶ。	
	岐阜大学	有機合成特論	1つの化合物を合成する方法は多数あり、コスト、安全性、効率、環境負荷を考慮して計画することが求められている。本講義では、製薬会社で実際に行われている医薬品合成の実例を紹介し、それら合成方法の安全性、効率、環境負荷の点での適切性などを議論する。また、最近報告された関連学術論文の紹介を参加学生に割り当て、各自論文の紹介と合成方法についての評価、問題点の提起などのプレゼンテーションを行う。	
	岐阜大学	錯体物性特論	遷移金属多核錯体は近年盛んに研究されている分野で有り、多くの錯体が合成されている。本講義では、これらの錯体の合成、構造、反応性、電子状態および分子物性に関しての最近のトピックスについて講義する。	
	岐阜大学	先端有機材料特論	我々の日常生活には様々な有機材料があふれ多大なる恩恵を受けている。それら有機材料の開発の経緯・製造プロセス・特性などを理解し材料科学者としての知識を習得する。	

専門科目	岐阜大学	機能性磁性材料学	機能性磁性材料の最先端研究を紹介し、最新の技術動向について詳しく紹介する。本科目の受講者は、博士研究の基盤となり、かつ将来にわたり研究者や技術者として必要な知見を得ることができる。		
	岐阜大学	反応・分離プロセス工学特論	化学プロセス設計に必要な反応工学および分離工学に関するトピックスを取り上げ講義する。さらに反応と分離を複合化した新規な化学プロセスの概念、設計、さらにはプロセス構築に必要な基盤技術（触媒設計、分離材料など）にも言及する。		
	岐阜大学	固体化学特論	酸化物などの無機固体を種々のセンサーや固体電解質、電子デバイスなどとして使用するときに必要な組成制御、格子欠陥などを化学的な観点から説明する。		
	岐阜大学	液晶材料物性特論	「Beyond Displays」の液晶材料開発の現状を学び、どこに進むべきかを議論する。		
	岐阜大学	分離計測化学	生命科学や環境科学をはじめ、さまざまな分野の基礎となる分離計測化学の基礎および応用について講義し、最先端計測装置についても紹介し、総合的にそれらを学ぶ。		
	岐阜大学	統計物理学特論	ミクロな構成要素の振る舞いからマクロな系の振る舞いを理解する基礎となる統計物理学についてゼミ形式による議論等を通して探求する。特に、生物物理への応用例を中心に学習し、統計物理学の理解を深めるとともに、生物物理学についても学習する。		
	岐阜大学	元素化学特論	周期表13族元素であるホウ素、アルミニウムさらには15族、16元素が組込まれた有機化合物の性質、それらを導く基盤的な合成方法、それらを使った新反応開発、それらのエレクトロニクスやフォトニクスへの応用を概説する。		
	岐阜大学	無機材料化学	無機ナノ材料の低環境負荷な合成法である、水熱合成法のような溶液を反応場とした合成法や、ゾルゲル法のような溶液を用いた合成法などについて、配位化学、反応の熱力学、溶液化学などにもとづいて講義する。		
	U K M 開 講 科 目	マレーシア 国民大学	リサーチメソドロジ	研究プロセス、データ収集方法、研究プロジェクトにおけるデータの効果的な利用に関する様々な視点を紹介する。本講義の目的は、研究の提案をする際に、科学技術における研究の原則を学生に理解してもらうことである。	
		岐阜大学	リサーチ ディセミネーション	国内外の学会等で英語により研究成果をプレゼンテーションする経験を必修化することにより、コミュニケーション能力、英語でのディベート能力、研究成果を英語で系統的にアピールする能力を育成する。国際会議へ研究成果のアブストラクト及びプロシーディングス原稿執筆し、その査読結果に対応して原稿修正後、会議で英語によるプレゼンテーションと討論を体験することにより育成されるグローバル化能力とコミュニケーション能力を評価。修士課程からの研究テーマを継続している場合には1年次半ば頃には国際会議等で発表できる成果が得られる見込み。国際会議発表申込から発表終了までの期間で、主指導教員が評価・単位認定。	
	岐阜大学	JDインターンシップ	ジョイント・ディグリープログラム（JD）の連携大学で主指導教員、副指導教員以外の教員による指導に基づき、開講される科目の受講と研究活動を半年から1年間程度実施することを必修とする。		

科学技術実践科目

岐阜大学	デザイン思考実践特論	グローバル化に対応できるコミュニケーション能力と科学技術イノベーション創成のためのデザイン思考能力育成を強化する。具体的には、イノベーション、プロジェクトマネジメント、ベンチャーの実施例を紹介することで、実践的経験に基づく活動の方法論を学ぶ。また、修士課程までの仮想的課題ではなく受講者の博士論文研究課題をテーマとして、イノベーション化するプロジェクト提案書を仮想的に作成し、その概要をプレゼンテーションする実践教育を実施する。プロジェクト実行のマネジメント教育および研究テーマを題材とするプロジェクト提案書作成及びその提案プレゼンを通してマネジメント、デザイン思考力、研究企画・立案、交渉能力等の育成。課題遂行に必要な期間を確保しつつ、半年間不定期に開講し、担当教員が評価・単位認定。	
岐阜大学	特別講義	授業内容は各分野のなかでも特定の専門に特化して、深く掘り下げた知識の教授、最先端技術の研究動向、さらにはイノベーション、プロジェクトマネジメント、ベンチャーなどの実施例を紹介、それらの実践的経験に基づく活動の方法論などを教授する。	
岐阜大学	エンライトメント・レクチャー	多方面にわたる企業の実績あるリーダーを講師として招き、企業の研究開発・研究マネジメントの能力を養成する。	
岐阜大学	ビジネス英語	ネイティブスピーカーによる講義等を通して、英語によるプレゼンテーション能力を修得する。	
岐阜大学	科学技術英語	本実践講義はプレゼンテーションのみならず、効果的な意見の述べ方、質疑応答のノウハウ、ディスカッションの進め方、会議のとりまとめ等、自信と総合的なリーダーシップが身に付き、ビジネスコミュニケーション及び海外セミナーでの研究発表に役立つ。	
岐阜大学	アイデアトレーニングキャンプ	異分野の参加者で構成されるグループでの徹底した議論を通じ、現在取り組んでいる研究の目標・目標の達成プロセスをリファインし、その結果を発表する。	
岐阜大学	学外研修プログラム（インターンシップ）1	企業における研究開発の実践的手法を現場で体験する。具体的には企業の研究開発グループとの情報交換・連携により実習等を行う。（1～3ヶ月の学外研修）	
岐阜大学	学外研修プログラム（インターンシップ）2	企業における研究開発の実践的手法を現場で体験する。具体的には企業の研究開発グループとの情報交換・連携により実習等を行う。（3ヶ月以上の学外研修）	

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その3の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）（岐阜大学）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	岐阜大学・マレーシア国民大学	ディサテーションプロジェクトプロポーザル	学生は何が解決すべき問題で、何を解明すべきなのか等、研究の背景について体系的に理解する。それに基づき研究の目的を設定し、研究計画を策定する。ビデオ会議システムの利用などにより学生指導委員会を構成する両大学の教員が出席の下、学生は研究計画について発表、質疑応答を行う。	共同開設科目
	岐阜大学・マレーシア国民大学	ディサテーションシノプシスレビュー	博士入学以降に得られた研究成果、国際論文の公表状況、どのように博士論文を取りまとめるのかについて、学生は学生指導委員会で発表、質疑応答を行う。主・副両大学の教員による学生指導委員会での審査を経て、博士論文提出の可否が決定される。	共同開設科目
特別研究	岐阜大学・マレーシア国民大学	特別研究	<p>（概要） 世界トップレベルの研究やイノベーションに繋がる萌芽研究のみならず、地域の課題に係わる研究をその専門領域の指導教員の指導のもとに実施する。</p> <p>（1 安藤 香織） 有機反応化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（2 上宮 成之） 反応分離工学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（3 海老原 昌弘） 錯体物性化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（4 大矢 豊） 無機材料物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（5 杵水 祥一） 分子集合体化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（6 瀧 守） 機能性有機分子化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（7 嶋 睦宏） 磁気物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（8 武野 明義） 機能性高分子物性に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（9 伴 隆幸） 無機材料化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（10 村井 利昭） 有機合成化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（11 岡 夏央） 機能性有機分子設計に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p> <p>（12 加藤 邦人） コンピュータビジョンに関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。</p>	共同開設科目

			(13 新田 高洋) 高分子物理学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。		
			(14 リム リーフ) 分離計測化学に関するイノベーションに繋がる課題の研究指導を行う。		
特別演習	岐阜大学・マレーシア国民大学	バイマンスリー プログレス レビュー	学生は研究の進捗を指導教員に報告し、問題点や今後の計画などを話し合う。4学期制の各学期に1度以上行うこととする。	共同開設科目	
	岐阜大学・マレーシア国民大学	アニュアル プログレス レビュー	学生は、1年に1度、学生は学生指導委員会において研究の進捗を報告、質疑応答を行う。	共同開設科目	
専門科目	岐阜大学開講科目	岐阜大学	有機高分子材料特論	高分子材料の研究開発に必要となる原理および解析方法について講義する。高分子鎖の挙動、高分子表面の評価、多孔性高分子材料、炭素繊維複合材料など、最近の研究動向や注目すべきトピックスについて論文を紹介しながら解説する。	
		岐阜大学	生体分子合成化学特論	核酸や糖をはじめとする生体分子やこれらの化学修飾体には、医療などへの応用が期待される生物活性を有するものが多い。本講義では、このような化合物を合成するための有機合成化学における方法論について講義する。	
		岐阜大学	コンピュータビジョン特論	最近のカメラの性能向上は目を見張るものがあるが、ここでは単に映像記録としてのカメラの理解に留まらず、カメラから得られた画像をコンピュータで統合処理して、観測している対象を認識・理解するコンピュータビジョンに対する理解を深める。具体的にはコンピュータビジョンに関する要素技術と応用システムについて輪講形式で学ぶ。	
		岐阜大学	有機合成特論	1つの化合物を合成する方法は多数あり、コスト、安全性、効率、環境負荷を考慮して計画することが求められる。本講義では、製薬会社で実際に行われている医薬品合成の実例を紹介し、それら合成方法の安全性、効率、環境負荷の点での適切性などを議論する。また、最近報告された関連学術論文の紹介を参加学生に割り当て、各自論文の紹介と合成方法についての評価、問題点の提起などのプレゼンテーションを行う。	
		岐阜大学	錯体物性特論	遷移金属多核錯体は近年盛んに研究されている分野で有り、多くの錯体が合成されている。本講義では、これらの錯体の合成、構造、反応性、電子状態および分子物性に関する最近のトピックスについて講義する。	
		岐阜大学	先端有機材料特論	我々の日常生活には様々な有機材料があふれ多大なる恩恵を受けている。それら有機材料の開発の経緯・製造プロセス・特性などを理解し材料科学者としての知識を習得する。	

岐阜大学	機能性磁性材料学	機能性磁性材料の最先端研究を紹介し、最新の技術動向について詳しく紹介する。本科目の受講者は、博士研究の基盤となり、かつ将来にわたり研究者や技術者として必要な知見を得ることができる。	
岐阜大学	反応・分離プロセス工学特論	化学プロセス設計に必要な反応工学および分離工学に関するトピックスを取り上げ講義する。さらに反応と分離を複合化した新規な化学プロセスの概念、設計、さらにはプロセス構築に必要な基盤技術（触媒設計、分離材料など）にも言及する。	
岐阜大学	固体化学特論	酸化物などの無機固体を種々のセンサーや固体電解質、電子デバイスなどとして使用するときに必要な組成制御、格子欠陥などを化学的な観点から説明する。	
岐阜大学	液晶材料物性特論	「Beyond Displays」の液晶材料開発の現状を学び、どこに進むべきかを議論する。	
岐阜大学	分離計測化学	生命科学や環境科学をはじめ、さまざまな分野の基礎となる分離計測化学の基礎および応用について講義し、最先端計測装置についても紹介し、総合的にそれらを学ぶ。	
岐阜大学	統計物理学特論	ミクロな構成要素の振る舞いからマクロな系の振る舞いを理解する基礎となる統計物理学についてゼミ形式による議論等を通して探求する。特に、生物物理への応用例を中心に学習し、統計物理学の理解を深めるとともに、生物物理学についても学習する。	
岐阜大学	元素化学特論	周期表13族元素であるホウ素、アルミニウムさらには15族、16元素が組込まれた有機化合物の性質、それらを導く基盤的な合成方法、それらを使った新反応開発、それらのエレクトロニクスやフォトニクスへの応用を概説する。	
岐阜大学	無機材料化学	無機ナノ材料の低環境負荷な合成法である、水熱合成法のような溶液を反応場とした合成法や、ゾルゲル法のような溶液を用いた合成法などについて、配位化学、反応の熱力学、溶液化学などにもとづいて講義する。	
岐阜大学	リサーチ ディセミネーション	国内外の学会等で英語により研究成果をプレゼンテーションする経験を必修化することにより、コミュニケーション能力、英語でのディベート能力、研究成果を英語で系統的にアピールする能力を育成する。国際会議へ研究成果のアブストラクト及びプロシーディングス原稿執筆し、その査読結果に対応して原稿修正後、会議で英語によるプレゼンテーションと討論を体験することにより育成されるグローバル化能力とコミュニケーション能力を評価。修士課程からの研究テーマを継続している場合には1年次半ば頃には国際会議等で発表できる成果が得られる見込み。国際会議発表申込から発表終了までの期間で、主指導教員が評価・単位認定。	
岐阜大学	JDインターンシップ	ジョイント・ディグリープログラム (JD) の連携大学で主指導教員、副指導教員以外の教員による指導に基づき、開講される科目の受講と研究活動を半年から1年間程度実施することを必修とする。	

科学技術実践科目

岐阜大学	デザイン思考実践特論	グローバル化に対応できるコミュニケーション能力と科学技術イノベーション創成のためのデザイン思考能力育成を強化する。具体的には、イノベーション、プロジェクトマネジメント、ベンチャーの実施例を紹介することで、実践的経験に基づく活動の方法論を学ぶ。また、修士課程までの仮想的課題ではなく受講者の博士論文研究課題をテーマとして、イノベーション化するプロジェクト提案書を仮想的に作成し、その概要をプレゼンテーションする実践教育を実施する。プロジェクト実行のマネジメント教育および研究テーマを題材とするプロジェクト提案書作成及びその提案プレゼンを通してマネジメント、デザイン思考力、研究企画・立案、交渉能力等の育成。課題遂行に必要な期間を確保しつつ、半年間不定期に開講し、担当教員が評価・単位認定。	
岐阜大学	特別講義	授業内容は各分野のなかでも特定の専門に特化して、深く掘り下げた知識の教授、最先端技術の研究動向、さらにはイノベーション、プロジェクトマネジメント、ベンチャーなどの実施例を紹介、それらの実践的経験に基づく活動の方法論などを教授する。	
岐阜大学	エンライトメント・レクチャー	多方面にわたる企業の実績あるリーダーを講師として招き、企業の研究開発・研究マネジメントの能力を養成する。	
岐阜大学	ビジネス英語	ネイティブスピーカーによる講義等を通して、英語によるプレゼンテーション能力を修得する。	
岐阜大学	科学技術英語	本実践講義はプレゼンテーションのみならず、効果的な意見の述べ方、質疑応答のノウハウ、ディスカッションの進め方、会議のとりまとめ等、自信と総合的なリーダーシップが身に付き、ビジネスコミュニケーション及び海外セミナーでの研究発表に役立つ。	
岐阜大学	アイディアトレーニングキャンプ	異分野の参加者で構成されるグループでの徹底した議論を通じ、現在取り組んでいる研究の目標・目標の達成プロセスをリファインし、その結果を発表する。	
岐阜大学	学外研修プログラム (インターンシップ) 1	企業における研究開発の実践的手法を現場で体験する。具体的には企業の研究開発グループとの情報交換・連携により実習等を行う。(1~3ヶ月の学外研修)	
岐阜大学	学外研修プログラム (インターンシップ) 2	企業における研究開発の実践的手法を現場で体験する。具体的には企業の研究開発グループとの情報交換・連携により実習等を行う。(3ヶ月以上の学外研修)	

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その3の1)に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校は、収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)）（マレーシア国民大学）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目 UKM 開講科目	マレーシア国民大学	リサーチメソドロジー	研究プロセス，データ収集方法，研究プロジェクトにおけるデータの効果的な利用に関する様々な視点を紹介する。 本講義の目的は，研究の提案をする際に，科学技術における研究の原則を学生に理解してもらうことである。	

（注）

- 1 国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第2号（その3の1）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。